



うれしの

# 議会だより

認定しました

平成19年度決算 ..... 2P

市財産の有効利用を（土地購入）

9月補正予算 ..... 6P

15人が論戦に挑む

一般質問 ..... 9P

委員会は走る

委員会の調査レポート ..... 19P



# 決算



## 厳しさが増すなか 気の抜けない予算執行

9月議会に提案された平成19年度嬉野市一般会計の決算認定については「一般会計決算特別委員会」を設置し、9月16日から4日間、各担当課からの説明及び事情聴取をおこないながら、詳細に

審査を実施しました。その結果、厳しい財政状況のなかでも健全かつ適正に予算が執行されていることを確認し、委員会意見を付し、全会一致で認定しました。

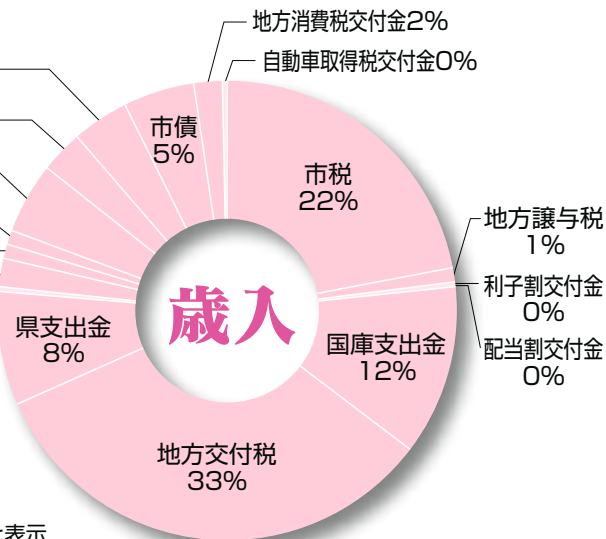
### 「委員会意見(要約)」

本年度から実施された財政健全化および経営健全化判断比率の算定について、本市においては各指標とも健全化基準を下回り健全財政を維持できているといえますが、依然として経常収支比率、公債費比率は高水準で推移しており、依存財源は6割を超し、当嬉野市にとって楽観できない状態です。

### 未収金が財政を圧迫

市税徴収については、差し押さえの徹底とインターネット公売の導入など鋭意努力され、徴収率は平成18年度より0.2ポイント向上しましたが、使用料収入をもって推進する事業の徴収事情はますます悪化し、未収金が市財政を圧迫している現状を見れば、収納対策を一層強化していく必要があります。

119億9245万0,395円



1%未満は、0%と表示

## 予算の流用は 最小限に

19年度においても、予算の流用(歳出予算のうち款・項は議決科目であり相互の流用は禁止され

ていますが、各目の経費の金額は、予算の定めに従って流用できます。目・節は、行政科目や執行科目といわれ、市区町村長の権限で相互に流用できます(金額が多額に及んでいます)。緊急やむをえない事態も理解しますが、新規事業や大きな事業の変更は事前に予測できると思われる、また事業内容の変更ともいふべき内容であれば、流用により対応するべきではないと思われ

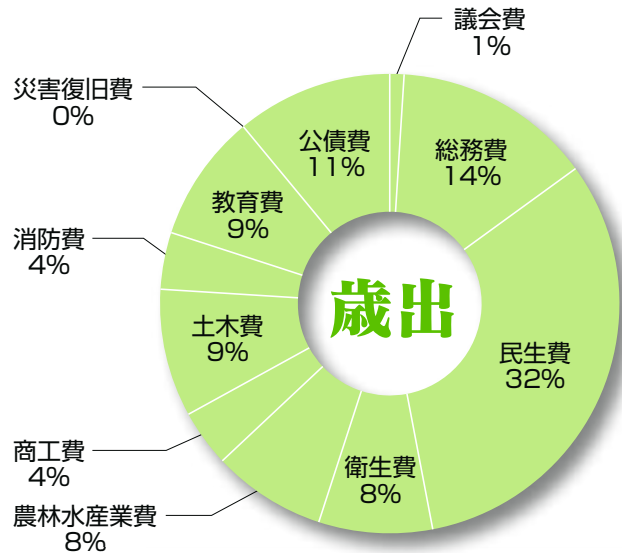


▲ようやく実現した伝建地区の防火水槽

# 平成19年度 一般会計



▲整備された温泉公園



**114億9145万9,477円**

**長期的展望を持って努力を**  
 嬉野市においては、近年中に起債の償還のピークを迎え、さらに永年の懸案事項であったリーディング事業の進行や、九州新幹線西九州ルートの開業・新駅建設に向けた大型事業の実施も控えており、市当局におかれては、地方財政をめぐる情勢が刻々と変化する中、長期的展望を持ち、かつ日々の努力により厳しい局面を乗り越えていただきたい。

## 貯金はこれだけ

(単位:千円)

基金積立金			
基金名	平成18年度末残高	平成19年度末残高	
財政調整基金	694,924	679,780	
減債基金	707,401	708,637	
その他特定目的基金	公共施設建設基金	620,450	636,014
	地域づくり推進事業基金	403,401	404,766
	ふるさと振興基金	16,221	16,270
	下水道事業基金	185,364	135,923
	地域福祉基金	464,051	464,051
	ふるさと水と土保全対策基金	20,413	20,413
	学校建設基金	89,785	140,432
	人づくり振興基金	50,000	50,000
	奨学資金積立金	50,357	46,550
	小計	1,900,042	1,914,419
合計	3,302,367	3,302,836	

## 借金はこれだけ

(単位:千円)

地方債(借入金)		
借入金の項目	平成18年度末残高	平成19年度末残高
補助事業の借入金	630,045	564,177
単独事業の借入金	4,100,652	3,944,082
学校施設建設の借入金	1,495,110	1,335,034
災害復旧事業借入金	16,424	11,097
公営住宅建設の借入金	151,131	147,420
福祉施設時建設借入金	5,088	4,178
景気対策事業等の借入金	663,293	609,503
減税補てん借入金	579,782	529,926
臨時税収補てん借入金	122,597	112,157
臨時財政対策借入金	2,713,207	2,926,174
県借入金	97,478	67,963
その他	1,328,787	1,259,818
合計	11,903,594	11,511,529

# 平成19年度 特別会計 決算



平成19年度嬉野市の6つの特別会計と水道事業会計の決算については、9月16日から3日間、担当各部課から提出された資料により、審査をおこないました。

## 委員会意見(要約)

今日の経済事情の悪化により、本市の財政状況も厳しさを増しています。各特別会計決算は目的とする事業遂行を適正に処理されていることを確認し、認定しました。

## 国保の健全運営を

### 国民健康保険

国民健康保険制度は、被保険者の負担をはじめ国からの負担金、補助金が運営の基礎となっておりますが、国民健康保険税の徴収率が低迷しており、大幅な改善が見られません。

公平性を欠き、また国民健康保険の健全な運営に支障を来たすことから、徴収率の向上には努力が望まれます。

このことは嬉野市のみならず全国的な傾向で、経済不況を反映したものであると思われます。しかし、それでは税の

また、なかでも保健事業の推進は医療費の抑制につながるもので、人間ドックはじめヘルスアップ事業の推進をはかりながら、特定検診事業へ結びつくように啓発の徹底に努めなければなりません。

## 保健指導に努めよ

### 老人保健

昨年引き続き被保険者の重複受診の抑制に努め、保健師及び栄養士に

よる老人の保健指導に努める必要があります。

## 19年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出	残高	
一般会計	119億9245万円	114億9146万円	5億99万円	
国民健康保険費特別会計	42億3842万円	40億9330万円	1億4512万円	
老人保健特別会計	39億8972万円	39億8276万円	696万円	
農業集落排水特別会計	8億3895万円	8億3341万円	554万円	
公共下水道特別会計	4億4157万円	4億3885万円	272万円	
嬉野第七土地地区画整理事業特別会計	3億9479万円	3億9230万円	249万円	
嬉野第八区画整理事業特別会計	2億5762万円	2億5595万円	167万円	
水道事業会計	事業的会計	水道料金他	経費支出	
		7億8420万円	7億7745万円	
	資本的会計	補助金他	工事費償還金他	留保資金より支払い
		5107万円	6億492万円	5億5385万円



# 安心・安全な水の提供を

## 水道事業

漏水調査は2年に1回（中心市街地は毎年）実施されていますが、その年の調査対象外となった地域への目配りも必要です。

水道料金の未収金の額

は督促、臨戸徴収などには努力された結果、昨年度末と比較して14割減と収納対策の成果はみられますが、平成20年9月から嬉野地区の料金改定により未収金の増加が予想されるので、今後さらなる

収納対策の強化が必要で

す。安定した収益の確保はもちろん、安全・安心な水道水の提供をお願いします。

## 事業の早期完了を

### 目ざして

慮しながら事業の早期完了に向けての努力を望みます。

#### 第七・第八土地区画整理

平成23年度の完了を目指して努力されていますが、今後の換地登記や新幹線の路線確定の問題もあり、職員の配置にも考

## 接続率の向上がカギ

#### 公共下水道（嬉野）

生活環境の向上と景観、公共用水域の水質保全をはかるため平成18年3月から供用が開始され接続率は36・6割（478件）となり、整備の進捗率は75・6割となっています。

接続率の向上と併せて、ホテル・旅館など大口利用者への加入促進や、ゆうゆう水洗化貯金の推進に向けてさらに努力が必要です。

## 水環境改善のために

#### 農業集落排水（塩田）

美野・上久間・馬場下3地区の接続率は同意戸数1003戸のうち、接続戸数746戸で、74・4割となっています。

今後も地域の水環境改善のため接続の推進を図りながら、一方においては市の財政にも配慮した経営を望んでおきます。

## 特別委員会の総括意見

各特別会計並びに水道事業会計予算執行においては、目的とする事業遂行を適正に処理しているものと判断するが、国保税や使用料など、利用者負担の原則に反する未納者の増加や累積滞納金額の増加など、昨今の経済

状況が低迷しているとはいえ、市民の権利と義務の点からも見過ごせない。特別会計全般で未収額が増加することは一般会計に大きな影響を及ぼすので、各会計ごとの健全な運営を目指し努力されることを望む。



▲街路樹植栽も終わり完了までもう一息（第7区画）



▲さらに接続率アップが望まれる

# 議案 質疑

# 9月定例議会

## 土地 購入

## 有効利用の道を！

平成20年第3回定例議会が、9月5日から25日まで21日間の日程で開催されました。

提案された議案は、一般会計・国民健康保険・老人保険・農業集落排水・第七・第八区画整理事業水道事業の補正予算6件土地の取得について・条例の一部改正6件などの議案が提案され、賛成多数で可決されました。「財政の充実・強化を求める意見書」についても可決されました（賛否表・意見書はP8）

昭和49年より後藤被服（株）佐賀工場（本社広島）として35年間操業してきたジーベック（塩田町五町田）が今年8月閉鎖、撤退されました。

長年お世話になった嬉野市で有効に活用していただきたいとの要望もあり、1万226平方メートル、土地と建物を含め、企業誘致の用地として、9000万円（坪単価約2万9千円）で購入することとなりました。

一方、今議会では、企業誘致の促進をはかるため条例の一部が改正され、1万平方メートル以上の場合、用地取得金額の4分の1相当額を用地取得奨励金（2500万円を限度）として進出企業に交付されます。

また、3年間上水道使用奨励金が交付されるなど、嬉野市独自の措置を設けて、県に進出企業の誘致を申し入れています。

また本庁入り口の720平方メートルを、混雑回避・駐車場整備・景観のために3000万円で購入することになり、さらに、旧嬉野町ときから購入の要望があった高速インター入り口に市営第2駐車場として借地している4356平方メートルも、1億544万円で産業振興とスポーツ振興のために購入することになりました。今後有効に活用されることを望みます。



▲企業誘致が待たれるジーベック跡地



# 古湯温泉の建設に うれしの材を活用



▲古湯温泉の模型（総合支所に展示中）

古湯温泉の建設については、今年度3億2562万円が予算化されていましたが、永年大事に育てていただいた市有林を建設用材として一部に利用することになりました。木造建築のため、集成材などを含め、全体量として250立方メートルのうち、上岩屋陣野地区にある樹齢80年程度の桧と、上不動（牛ノ岳と上不動広川原林道際）の桧と杉を選木伐採し、製品にして、13立方メートル程度が利用される予定です。

伐採運搬業務に、169万6000円、製材乾燥に527万9000円が上乗せして予算化されました。

伐採運搬後、人工乾燥に約2ヶ月ほどがかかり、完成は来年秋頃ではないかと思われます。

駐車場については旧紅屋新館跡地に60台ほど駐車できるように整備されました。

今回、市営駐車場の条例改正があり、新たに古湯温泉第1・第2駐車場として追加され、一般の駐車料金は2時間以内100円、2時間を越え1時間ごとに100円となります。

温泉を利用される方については、今後無料にできるように検討されます。

## 低コスト＋環境

世界的な原油相場の高騰に伴い、施設園芸に用いる加温用燃料の価格が急激に高騰していることにより、施設園芸農家の経営に占める生産コストが増大し、施設園芸を取り巻く情勢が一段と厳しさを増しています。

このようななか、今後、本県の施設園芸農業が持続的に発展していくためには、脱石油型や省石油型などの石油に過度に依存しない省資源型施設園芸を確立していくことが必要であり、本市においても各生産者部会を中心に、取り組むことになりました。

事業内容は、省資源型施設園芸の確立に必要な装置などの整備に要する経費に対し、県と市が補助をするもので原油価格高騰に耐えうる産地体制

を確立する観点においても、この事業を有効に活用してもらいたいと思います。

今回の原油高騰は、施設園芸農業者ばかりでなくさまざまな業界、業種

に大変な打撃をあたえています。

地球温暖化の問題も含めて、省エネルギー対策にはこれからも、全地球的な取り組みが必要となっています。



▲低コスト化をどうはかるか

# 地方の声を国政へ 意見書

## 地方財政の充実と強化を

● 陳情者

自治労佐賀県本部

執行委員長 宮島 康博

採択しました



### 意見書（要約）

2008年度に創設された地方法人事業税の国税化と、都市部の税収を活用した「地方再生対策費」は格差是正策としては不十分である。

能・財政調整機能による、是正を行い、地方自治体の意見を十分に踏まえた対応を行うよう強く要望する。

経済財政政策担当大臣  
与謝野馨様

佐賀県嬉野市議会

平成20年9月25日

このため2009年度予算は深刻化する地域間格差是正と公共サービスの充実に向け、水準の確保と地方分権推進にむけて、国・地方の税収配分5対5を実現する税源移譲、地方交付税機能による地方財源の充実強化をはかり、自治体間の財政力格差は、地方間の財政調整によることなく、地方交付税の財源保障機

内閣総理大臣

麻生太郎様

内閣官房長官

河村建夫様

総務大臣

鳩山邦夫様

財務大臣

中川昭一様

経済産業大臣

二階俊博様

賛否表	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21
				小田寛之	大島恒典	梶原睦也	秋月留美子	園田浩之	副島孝裕	田中政司	川原等	織田菊男	芦塚典子	神近勝彦	太田重喜	山口榮一	野副道夫	副島敏之	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山田伊佐男	山口栄秋
嬉野市営駐車場の一部を改正する条例	可決	20:0																					
嬉野市企業等誘致条例の一部改正	可決	20:0																					
土地の取得について	可決	20:0																					
嬉野市一般会計補正予算	可決	19:1																				●	
嬉野市老人保健特別会計補正予算	可決	20:0																					
嬉野市水道事業特別会計補正予算	可決	20:0																					

○は賛成 ●は反対



ここから

一

般

質

問

15人

問  
社会文化体育館建設を  
急げ

平野 昭義 議員

答  
再度意見を聞き組織を  
立ち上げる



**平野** この問題は両町の合併協議会において確認事項である。12月までに建設場所決定に努力すべきだ。9月3日、塩田町全区

長会の席上で「宮の元地区から下流域は冠水区域とされているので安全な場所を」という意見もあったと聞くが。  
**市長** 区長会にも報告をし、今後も各団体の意見を聞き再度組織をつくり議論をお願いしていく。  
**平野** ハザードマップ（冠水区域）が今年1月に作成されたが以前はなかったのか。

**副市長** 今回、県で初めて作成された。水没地域を色分けして説明してある。  
**平野** 中心部は堤防の高さであり、安全な場所ということと署名活動がされてきたものと思う。  
冠水区域公表は、塩田町民に十分な説明をしていくべきである。  
**市長** 以前塩田町るときに結論が出ていたと聞いていたが、そうではなかったということなので、再度、意見を賜わり施設が完成した後、市民の方が喜んでいただける施設を造るためにも、しばらく時間が必要と考える。  
**平野** 判断を迅速におこない、早目の決定を望む。  
**市長** 年度内に多くの意

見を賜り新年度に公的な組織を立ち上げていく。  
**企業誘致と定住促進**  
**平野** 誘致活動と定住人口増加活動は「車の両輪」であり、企業・農業・観光の三本柱の計画を策定し、目標を掲げ取り組みを。  
また企業団地への道路である、武雄インターから高規格道路計画を県に要望すべきではないか。  
**市長** 企業団地は久間地区を造成計画し開発の協議を開始した。  
高規格道路については、先日の西部地区の知事への要望の際にも意見をだしている。  
現在まだ見込みが立っていないので近隣の市と



▲ 久間工業団地交差点

# 機構改革で不便な部分は改善を

野副 道夫 議員

## 答 改善に努める



### 新幹線の開業に向けたまちづくり構想は

**野副** 平成30年には九州新幹線長崎ルートが開業する。

**野副** 先に実施された機構改革によって住民の方が不便になっていないか。

**市長** 大きな混乱もなく移行できたと考えている。

**野副** 写しなどが即座に必要である場合、旧町で受領してくるよう求めることは改善の必要があると考えるが。

**市長** 担当の職員もシステムの限度を理解できていなかった。

今後は十分注意し、市民の皆様迷惑をかけるような努力する。

地権者を含む地域説明会が開催されたが、住民の反応はどうだったのか。

**市長** 今回の説明会は、今後の進め方についての説明であったが、参加者の意見は、騒音の問題・水源への影響・振動の問題などがあつた。

**野副** 「新幹線で活性化を」というまちづくり部会が設置されたがどのような部会か。

**新幹線整備課長** 新幹線を活かしたまちづくりの方向性を市民の方に早く示していく必要性から、今年度に嬉野温泉駅周辺整備構想を策定する部会

# 行き止まり市道をどうする

太田 重喜 議員

## 答 今から検討する



**太田** 6月議会に地域から陳情が出され、産業建設委員会では「作業林道としてでも整備すべき」との意見が出された。

行き止まり市道の「両岩殿ノ木庭線」の嬉野側の整備はどうする。

市道は610路線あり、地域の要望も最も多いので、補助制度も活用して取り組んでいく。現地は見たので、今から取り組んでいく。

**市長** ただ検討するだけでなく、是非とも重機を通して作業林道の整備を。産業建設部長 民有林の中であり、所有者の負担が発生する。

**太田** 道の両側50メートル間伐すれば費用は出るので、工夫をし知恵をだせ。上不動の国見も行き止まりだが、ここの作業林道計画は。

**建設課長** 以前検討した経緯がある。

**太田** 合併前の地区説明会では「周辺集落等に不安・迷惑をかける行政はしない」との約束があり、防災面からも行き止まり市道等は早急な対策を。

**市職員の守秘義務遵守**  
**太田** 個人情報保護条例を持ち出すまでもなく、職員の守秘義務は守られなければならない。職員に対し、どのような



▲ これでも市道 両岩殿ノ木庭線

に教育・指導しているか。  
**市長** 勤務時も退職後にあつても、公務に携わるものとして大切な義務として指導しており、今後研修などを増やして指導していく。

**観光問題について**  
**太田** 観光客の集客増のために、JTB等へ職員を長期派遣し、民間の手法を学び、取り入れて成果を上げている町がある。本市もこのような取り組みを考えては。

**市長** 旅行代理店とはさ

まざまな連携をしているが、今後も取り組むべき課題だと考えている。

### その他の質問

● 市有財産となつた里道・水路の管理責任と占有使用料・払い下げについて

● 「環境に優しい持続的農業」の本市のポジティブリスト（一定の量を超えて農薬等の残留する食品の販売等を禁止する）制度とドリフト（漂流飛散）防止について

職員に

について





▲ 窓口で字図の点検 (本庁)

である。

**野副** 市長の構想は。

**市長** 周辺の環境を壊す

ことなく、日本一のバリ  
アフリーと嬉野らしい駅  
を目指していきたい。

**野副** 近隣市町との連携  
は避けて通れない問題だ  
と思うが。

**市長** 近隣市町の理解も  
必要だし、嬉野市外の方  
々との関係も保ちながら  
事業を推進していきたい。

**農業問題に  
どう取り組む**

**野副** 今農業を取り巻く

環境が、かつて経験した  
ことのない厳しい状況に  
直面している。

米価は年々下降線をた  
どり、施設園芸は、原油  
価格をはじめとする諸資  
材の高騰によって悲鳴を  
あげている。

また、お茶については  
価格の低迷が続く中で、  
今年は、とどめを刺され  
た状況にある。

**市長** 消費地との交流を  
深め、安全で安心な農産  
物を幅広く深めていくこ  
とが肝要だと考えている。

**梶原** 文科省のアレルギー

疾患に関する調査特別  
委員会の報告によると、  
学校が各種の「取り組み  
をおこなっている」と答  
えた割合は高いが、実際  
には「ガイドラインのよ  
うには対応してくれない  
」という声が多いのが

現状だ。  
いかに立派なガイドラ  
インができて、学校現  
場で実現されなければ何  
の意味もない。

**問 アレルギー疾患に対する  
学校現場の取り組みは**

梶原 睦也 議員

**答 きめ細かに対応する**

**梶原** アトピー性皮膚炎  
に関しては皮膚を清潔に  
保つ、軟膏を塗るとい  
う取り組み。

**市長** きめ細かに学校、  
医師、家族との情報交換  
をし、長期に対応しなく  
てはいけない。

また、学校・保育所・  
給食センターなど、全体  
で引き続き円滑におこな  
われるよう努力する。

**教育長** 学校のアレルギー  
疾患に対する取り組み  
ガイドラインに基づいて  
取り組みを推進している  
最中で、職員研修により  
対象となる児童・生徒の  
保護者への学校生活管理  
表の配布や提出について  
共通理解をはかった。

今後、ガイドラインの  
取り組みの流れに基づき、  
子供たちの安心・安全な  
学校生活が保障されるよ  
う取り組む。

**梶原** 政府は、個人情報  
保護法に関する基本方針  
の改正案を閣議決定した。



▶ ガイドラインはできたが…

のが基本的な対処法だが、  
学校においては、保健室  
の整備として温水シャワ  
ーの設置が効果的ではな  
いかと考えるが。

**市長** 温水シャワーにつ  
いては検討したことがな  
い。

資料等も集めてこれか  
ら勉強する。

**個人情報保護法の  
過剰反応に対する  
取り組みは**

**梶原** 政府は、個人情報  
保護法に関する基本方針  
の改正案を閣議決定した。

基本方針には、災害時  
の緊急連絡簿の作成が困  
難になるなどの過剰反応  
を防ぐ対策が新たに盛り  
込まれたが。

**市長** 個人情報保護法の  
実質的な運用の効果があ  
がるよう改正されたもの  
と思う。

研修を重ね適切な運用  
を目指す。  
条例や運用の改正など、  
今後国から連絡があれば  
検討する。

# 市消防団の現状と地域防災体制の充実強化を

副島 敏之 議員

## 答 見直し必要



理統合も必要であり、若い消防団員の不足など全国でも見直しがおこなわれており、現在消防団で検討してもらっている。

**副島** 嬉野市消防団の定数は1050人。

旧嬉野町の4分団26部、旧塩田町の3分団11部を継続しており、部の人数は地区ごとに大きく異なっている。

地区によっては今後新入団員の補充が厳しいところもある。

3年目を迎えた市消防団員の定数の見直しと部再編の取り組みはどうなっているのか。

**市長** 人口比率で近隣市町より多く、今後は定数の見直しや、各分団の整

機で塩田と嬉野間で無線通信ができない。早く通信ができるように。

**市長** 市内全域で統合ができていない。今後、早く取り組みをしたい。

### 防災行政無線の嬉野市全体の整備を

**副島** 塩田については、アナログ方式で町内約3000世帯全戸に設置している。

緊急情報もすぐに耳から伝わり、行政のお知らせ、案内等も毎日放送さ

れている。

しかし嬉野地区においては台数が少なく整備されていない。

国の方向性はデジタル方式への変更を進めており、今後は市内全域をデジタル方式で整備する必要があるが。

**市長** 嬉野地区の防災無線は450台が緊急時や広報に利用されているが主に消防団幹部や行政嘱託員宅などに設置している。

今後は費用が相当かかるので来年度検討してい



▲ 嬉野と塩田で無線システムがちがう消防車輛

きたい。

できればデジタル化を目指し、統一してやったほうがいいのではないかと思います。

### 女性消防団用に広報活動車の確保を

**副島** 当市において女性団員は43名、主な活動は広報活動である。

**市長** 家庭訪問をし、防火指導をしている。他の車と併用して使いたい。

## 観光立市として観光施設の整備を

山田伊佐男 議員

## 新幹線を活かしたまちづくり協議会で検討

問

答



次計画を策定して具体的に取り組むべきだ。

また、広域観光推進のため、定期観光バス運行も検討されたい。

**市長** 新幹線を活かしたまちづくり協議会が発足したので今後取り組みたい。

近隣の観光地へのアクセスについては、バス・タクシー関係業者との連携を深めて検討したい。

### ジェネリック医薬品の推進で負担軽減を

**山田** 本市の医療費の占める割合は県下でも高い水準である。

対策として、新薬と効能が同様のジェネリック(後発医薬品)の普及を求めたい。

**市長** 市内においても、すでに使用が進んでいる。ジェネリックを使用した場合、新薬と比較して8割程度の費用で済むと考えている。

かかりつけの病院で相談できる体制をつくるよう努力する。

**山田** 広島県の呉市では、医療費が増大し市の財政

**山田** 九州では、新幹線効果の鹿児島と、九重夢大吊橋の波及効果で大分が健闘しているが、観光立市の嬉野として今後の観光施設の整備は重要な課題である。

新幹線開業を目標に年



問

# 売茶翁関係史跡の整備を

山口 榮一 議員

## 答 取り組みでできるよう 相談していく



**山口** 茶道の茶祖は千利休、煎茶道の茶祖は売茶翁と言われている。

売茶翁は1675年佐賀蓮池生まれで、蓮池の藩主である鍋島家の藩医、会津出身の芝山空之進、母みやの三男として、生を受けられたと文献にはあるが、実際は古い過去帳が見つかり、四男であるとのことである。生家についても、くど造りの家屋が一部残っている。

文化財は貴重なものと思うので、地主の方と協議をし、ご了解を受け、売茶翁と碑文内容を紹介する看板整備ができないかと考えるが。

**市長** 我が国で初めて喫茶の習慣をつけ、お茶を一般の家庭にまで広められた売茶翁の父親と言われる方の墓が塩田にあり、五町田小学校近くと、下野辺田地区に関係史跡がある。

旧塩田町では、平成17年に石像物の有形重要文化財として指定している。現在、農地や宅地内となっており、地権者のご了解をいただく必要がある。

今後、文化財保護を大切にしながら、紹介についての看板設置などにつ



▶私有地にある売茶翁の父親の墓（五町田小つら）

いて取り組みでできるような関係者に相談をしたいと考えている。

**山口** 下野辺田の円明寺

跡については鍋島直純公が、1665年塩田に隠居していたとき、慈眼山円明寺を建てて、売茶翁の師である化霖和尚を住まわせたとあり、寺は明治初年にはなくなっているが、そこについても整備をお願いしたい。

**教育長** 現在民有地であり、調査をし、相談をしながら取り組みが必要がある。

売茶翁への県民・市民の意識も高まりつつあるなか、動向をみながら市として検討していく。

### その他の質問

- 早期の公園管理を
- 木場川から温泉区への水路活用は
- いのしし対策
- 県立軽費老人ホーム  
いずみ荘はどうなる

を圧迫したことから、ジエネリックの普及に取り組み年間5千万円の削減効果を出している。  
ジエネリックを使用した場合、患者負担の軽減額を明記した通知書の発送を行っている。  
本市でも前向きに検討をしていただきたい。

**健康運動教室で医療費抑制を**  
**山田** 各自治体では、健康指導教室を盛んに実施している。

本市でも積極的に対応すべきと考えるが。  
**市長** 水中ウォーキングや運動教室、Jリーグから予算をいただきサガン鳥栖健康教室も実施して効果があった。  
**山田** 各課、各々実施しているが一本化することはないか。

**市長** 補助事業に合わせ組織が動いているが、将来的には一本化して成果が上がるように取り組むべきと考える。



▲整備が待たれる俵坂関所跡

# 新幹線トンネル工事の残土処分地を有効利用せよ

田中 政司 議員

## 有効利用ということを第一に考える



**田中** 新幹線の残土処分はどうなる。

**市長** 量は、50万立方メートルと見込んでいる。

工事を請けられた会社・鉄道運輸機構・市の三者で打ち合わせをおこ



▲ 新幹線の地域説明会

ないながら、処分地を決定したい。

**田中** 今までの残土処分地においては有効利用できていない箇所もある。

工業団地や住宅団地、あるいは農地などの利用が考えられるが、今回の処分地における利用方法は。

**市長** 市有地を処分地にする場合は、当然今後の有効利用ということを第一に考える。

その市有地で足りない場合は、民有地にお願いするところも出てくるのではと考えている。その場合は所有者の意

向に沿う形になると考える。

**トンネル掘削前の湧水や井戸の事前調査は**

**田中** 湧水・井戸への影響を沿線の市民は一番心配されている。

トンネルを掘った後、水が出なくなったが事前

にどれぐらいの水が出ていたか「調査資料がないため機構と交渉できない」では困るので沿線の事前調査を徹底するべきである。

**新幹線整備課長** 鉄道・運輸機構と打ち合わせをしている。

# 合併後トップセールスをしたか

園田 浩之 議員

## 答 おこなっていない

から、まだ行ったことはない。

**園田** 市長があちこちの交差点で、横断歩道の交通整理みたいなことをされているのをよく見かけたが、私には不可解である。

**市長** 運動している者にとつては、会釈のため大変危険だ。

市民のことを思うエネルギーがあれば、時間をつくって是非トップセールスをやっていただきたい。

**市長** 上京するたびに時間をとり、デパートを回っている。

# 農業問題

**園田** 肥料のもとになる燐鉱石が手に入らなくなる事実は知っているか。

**市長** 報道等では把握している。

**園田** 現在ほとんど中国から輸入をしているが、中国自身も自国の消費量増大で、いずれ米国同様輸出をとめるだろう。

燐の輸入がストップすれば、お茶だけではなく農業全体が壊滅的な打撃を受けることはわかっているのか。

**市長** 影響が出てくるのは承知している。

**園田** それに対する市長の対策・方策は。

**市長** 自然に優しい肥料を使いながら、耕作の効率を上げていくというふうなことに転換せざるを得ないと思う。

**園田** 嬉野町の下水処理場に先進的な燐回収の実験施設の誘致や農業集落排水施設・鹿島藤津のし





**副島** 少子化対策が思うように進まず、高齢化は予想以上の速さで進むなか、政策の見直しが急務であるが、その対策として、人口5万人以上の中



**答**  
慎重に検討する必要がある

**問**  
「定住自立圏構想」への本市の対応は

**副島 孝裕 議員**

心市と周辺の市町村で生活圏をつくり、圏域自治体が連携して地域活性化を推進していくための施策として、「定住自立圏構想」が総務省により示されたが本市の対応は。

**市長** 現在でも多くの事業を一部事務組合でおこなっており、今後も共同処理などを拡大して自治体のスリム化をはかることは可能と思う。

**市長** 現在でも多くの事業を一部事務組合でおこなっており、今後も共同処理などを拡大して自治体のスリム化をはかることは可能と思う。

沿線の各区長さんに、湧水・井戸の地点の調査をお願いしており、それをもとに運輸機構の方へ水文調査をお願いすることになる。

を越える茶園が6割を占めている現状である。現在、年間どれぐらいの茶園の更新が進んでいるのか。

**田中** 茶の産地として生き残るためには、他の補助金を削減してでも茶園の若返りを推進する施策が必要である。

尿処理場に今までと違うリサイクルプラント化、また、生ごみの有機肥料化施設を早期に手がけると一石三鳥にもなると考えられるが、私のこのような提案は的外れか。



▲ 鹿島藤津のし尿処理場

**田中** 嬉野市は樹齢20年を急げ

**農林課長** 19年度で6分ぐらいの苗木に補助を出している。

茶産地として生き残るためには年間40分ぐらい

活用した取り組みが、市町村合併が一段落した本市の活性化策として大いに期待されると思うが。

**市長** 物価指数の推移については、県の資料として食料品を中心に、約30程度の上がりになっている。

**市長** 国で検討されると思うので、通達がくれば対応できるが、市独自としては検討していない。



▲ 地域の守り 嬉野医療センター

### 問 茶業振興について

大島 恒典 議員

**答** ブランド商標を活かした  
取り組みをしたい



登録を活かして、攻めて行く施策が必要だ。

**市長** 私もそう思っていて、西九州茶連、商社の方と一緒にあって、取り組んでいければと思う。

### 教育問題について

**大島** 今年4月におこな

われた「全国学力・学習状況調査」の結果についてのどのように考えるか。

**教育長** この調査を受けて、各学校の弱点部分を詳細に分析し、授業の工夫・改善にいかしていきたい。

**大島** 家庭での生活習慣が安定している子どもたちの成績が良いと結果がでていたが。

**教育長** 昨年、各学校で生活アンケートをとり、保護者に啓発をおこなっ

**大島** 現在の茶市場はペ  
ットボトルの茶の原料向  
けとして動いている。  
「うれしの茶」の商標

**大島** 今年産の荒茶価格  
の状況について、過去3  
年間の価格の推移から見  
ても、非常に厳しい展開  
である。  
今後の茶業を考えたとき  
き危機感を感じるが。  
**市長** 景気の低迷により  
消費が進んでいない。  
今回、地域ブランドの  
商標登録ができたので、  
産地として名声を堅持で  
きるよう努力したい。

### 問 「トンネル坑口の騒音」 実体験が必要

神近 勝彦 議員

### 答 鉄道・運輸機構に伝える



計画上の沿線のみならず、実際のどのような音がするか体験し、理解を  
してもらおうことが大事と  
思うが。

**市長** 再来年には、鳥栖  
の九州新幹線が完成する。  
開通前の試運転の時期  
に視察が可能と考えてい  
る。

**神近** 今年度、3月いっ  
ぱいで、縦横断測量が終  
わる予定と聞いている。

トンネルの坑口の位置  
が決定すれば、早急に坑  
口の周辺のみなさんに、  
こんな音がするんだと体  
験してもらおうことが必要  
だ。

**市長** 機構に伝えたい。  
また、騒音の沿線対策  
は、いろんな手法をとる  
と約束されている。

**神近** 3月議会の質問で、  
商店街や旅館などが少し  
でも潤うように、工事関  
係者の宿舎を嬉野へ誘致  
するよう要望したが、ど  
うなっている。

**市長** 商工会や関連業界  
の皆様も一緒にというこ  
とで、武雄市と一緒に県  
と運輸機構の本部へ直接  
出向いた。



▲ 新幹線トンネル出入口の防音装置

**神近** 一時的でも嬉野の  
消費が動くように、必ず  
工事事務所を嬉野へもつ  
てこれるように、今後と  
も活動をお願いしておく。

### 安心・安全な水道水を

**神近** 今年も岩屋川内ダ  
ムではアオコが発生した。  
また、横竹ダムでも昨  
年から発生がみられる。

**市長** 基本的には議員の  
発言と同じ考えである。

以前は取水口の変更は  
できなかったが、現在で  
は可能性もあると思う。  
しかし、嬉野市はダム  
からの取水権が無いので、  
現在まで河川からの取水  
をおこなっている。

安心・安全な水道水の  
提供を考えれば、ダムよ  
り上流から原水を取水す  
るべきと考えるが。

実験の成果が具体的に  
あがってくれば、岩屋川  
内ダムでも実施されるよ  
うに交渉しなければなら  
ないと思っっている。





▲「うれしの茶」が商標登録認可

ている。

現在老人クラブの研修会などで、この学習状況調査の部分の生活状況と学力の関係なども話している。

今後PRに勤めていきたい。

防災計画について

**大島** 最近、想定を超える雨量が観測されており、各地に被害を及ぼしている。

市内におけるハザードマップ作成や、災害弱者の支援体制は。

**本庁総務課長** 本年度、災害時要援護者計画避難支援計画の策定と、来年度は、ハザードマップ作成を予定している。

**大島** 要援護者の支援体制については、近年各地の災害時において、個人情報保護法の関係で、いざというときうまく機能できていないと聞いている。

今回策定されるにあたり、実効性のある慎重な審議を望んでおきたい。

問 障がい者が使用できる多機能(多目的スペース)トイレの整備を

川原 等 議員

答 将来に向けて努力をする



が利用者トイレに設置してあるベビーベッドでは、1歳を過ぎると狭くて使えないので、乳幼児から大人まで使える台を設置してほしいとあった。

バリアフリー日本一を目指す市長の考えは。

**川原** 嬉野市を訪れる人々にとって、公的なトイレの整備が進んでいるか否かは、健常者であれ、高齢者であれ、障がい者であれ大きな問題のひとつである。

8月の市報に「みんなのトイレ設置補助金のおしらせ」が掲載されていたが、基準となるモデルのトイレがあるのか。

**市長** 温泉公園に設置してある多機能トイレを参考にする。

**川原** 障がい児をもつ保護者が言われるには、障

浦田川の消防水利

**川原** 市消防団役員と意見交換会をおこなった中で、浦田川に藻や汚泥が滞り、火災発生時には支障が出るのではないか。

藻や汚泥の撤去について、県に対して要望されているのか。

**農業委員会事務局長** 毎年要望をしている。

**川原** 町で火災が発生し



▲ 常時消防水利には使えない浦田川

たら浦田川しかない。

しかし、現状は藻が繁殖し汚泥が滞り、消防団は消火に支障があるとされている。

行政の危機意識がずれているのでは。

**総務課長** 県の河川関係予算も減っており、浦田川の整備が最優先という現状ではない。

**川原** 住民の生命と財産を守るには、浦田川の水が絶対必要である。

市の財政からでも処置すべき。

**総務部長** 再度県の方へ

お願いする。

下水道事業について

**川原** 五町田・谷所地区は、平成23年供用開始になるが、その後の久間北部・東部、大草野はどうなる。

今後、新幹線の工事と駅の周辺整備が絡んでくるが財政的問題は。

**市長** 五町田・谷所地区の供用開始後、一般的な財政状況を見ながら進捗させていく。

# 問 「口座振替」で税金の軽減は

西村 信夫 議員

## 答 安くなる場合がある



から控除することが可能になるので、夫に所得税、個人住民税が発生する場合、その分、夫の税金が安くなる場合がある。

**西村** 申請により口座振替ができるが、要件は。

**健康福祉部長** 国保の保険料を確実に納付している人。

年金収入が180万未満(世帯主または配偶者)で口座より納付する場合。

**市長** 3707名全員に通知を出し、115名が口座振替を利用される。

**西村** 保険料を口座振替に変更すると、社会保険料控除の適用で税金の負担が軽くなると聞くが。

**市長** 夫婦の場合、妻が夫の口座から振替をするよう手続をされた場合に、振替された金額を夫の社会保険料控除として所得

内容が一般人には難しく、議論も説明もなく準備が進められている。

裁判所から市民への周知依頼があっているのか。

**市長** 裁判所の依頼でポスター掲示・市報などに掲載している。

初めての制度で国民の理解を求めて施行されることが大切である。

**上久間線廃止について**

**西村** 鹿島〜塩田経由の堤の上のバス路線が9月末廃止となるが、今後の対応策は。

**市長** ジャンボタクシーで週2日、火曜日と金曜日運行(1日3往復)。

塩田分岐から堤の上間で、運賃は大人300円。

**社会文化体育館について**

**西村** 審議会は建設場所決定にならず答申。

早期建設に向けて考えは。

# 問 ブックスタートの導入を

秋月 留美子 議員

## 答 早速検討して図書館活動としておこなう



スタートは1992年英国で始まり、日本に2000年に紹介された。

旧嬉野町のときや合併してすぐの一般質問でも要望があったが、まだなされていない。

現在国内669自治体を実施している。

伊万里市は「NPOブックスタート」より750円の絵本を490円で購入、武雄市はお話会で実施、鹿島市はブックリストを配布している。

**市長** 嬉野市ではどうする。

**市長** 絵本の紹介リストを作成し、配布する。

**秋月** 最初の絵本を新生児に差し上げてほしい。

**乳幼児用のサークルや階段の昇降機の設置を**

**秋月** 図書館内に乳幼児用のサークル、おむつ交換ができる場所がほしい、また階段の昇降機設置などの要望がある。

**市長** 以前から必要との声があり、整備したい。

オストメイトのトイレを設置しているが、それを利用できると思う。

図書館の整備ができていないのは承知しているし、改修しなくてはなら



▲(左)鹿島市のブックリスト(右)武雄市のブックスタート絵本





**市長** その後、各種団体などと意見交換し、場所施設内容など様々な意見がでた。  
 今後、多くの意見を聞き、将来多くの市民が親しんで利用できる施設を建設することを念頭に努力する。



▲ 特養うれしの（下宿区 福祉ゾーン）

いのは充分理解している。  
**農商工連携の取り組み**  
**秋月** 本年度、農林水産業と商工業などで連携強化して相乗効果をめざす農商工連携促進法が制定されるなど、国は連携を支援、県も「農業県佐賀」として力を入れている。

武雄市は農商工連携88選に、レモンガラスで地域活性化をめざした農事組合法人「武雄そだちレモンガラスハッピーファーマーズ」が認定された。嬉野市での農業と観光の連携した取り組みは。  
**市長** 促進法以前から取り組みをおこなっている。

地域の連携を再度深めていき、農業と観光業の一体化、耕畜連携の取り組みを進めていきたい。  
**秋月** 地域の農業や商業が生かして、観光とかによる経済効果を市内全域に波及できるような施策を考えてほしい。

# 委員会は走る 委員会レポート

## 議会運営委員会

### 議会基本条例制定にむけて 三重県へ

議会基本条例の調査のため、全国の市で最初に制定された伊賀市議会と、県で初めての三重県議会を視察した。

伊賀市の基本条例制定は、7名の「議会あり方検討委員会」のなかで検討され、対話集会やパブリックコメント、住民との意見交換などを経て、平成19年2月議会で可決

制定され、三重県議会においては基本条例のほか、今年から2会期制を導入されている。

#### 委員会の意見

現在、嬉野市議会でも議会の最高規範である議会基本条例制定に向けて協議がおこなわれている。今後検討すべき課題は、

議会報告会・政策討論会・反問権（執行部からの逆質問）・議会モニター制度などが考えられるが、基本条例の趣旨を各議員が理解するとともに、市民にも条例の必要性の説明をおこない、市民の意見を反映させた独自の条例をつくるべきである。

また反問権導入にあたっては、反問された議員

は自己の質問について充分な勉強をしていないと対応できないので、今以上に議員の研鑽が求められる。

基本条例制定には今後

とも慎重かつ十分な議論をおこない、これからの嬉野市議会のありかたにおいても、2会期制の議論も考えられる。



▲ 三重県議会での研修

# 地域活性化は地域の熱意で 荒尾市へ視察

## 産業建設 委員会

荒尾市では、平成16年  
国の地域再生事業の認定  
を受け、事業に着手され  
地域住民による研究会を  
設立し、郊外の大型スー  
パーまで行くことが困難  
な人を対象に、半径30  
0メートル圏内での産物直売所  
を開設されており、その  
実態を調査した。

### 委員会の意見

荒尾市は、三井三池炭  
鉱が平成9年3月完全閉  
鎖され、人口流出と高齢  
化が進み、まちの活力も  
低下の一途を辿ってきた。  
そこで国の地域再生事  
業の認可を受け、中央商  
店街の小売店店主5名が  
企業組合を組織し、空き  
店舗を利用した「まちな  
か研究室」を設立され、

# 消防団活動と部の再編・団員確保を 消防団幹部と協議

## 総務企画 委員会

少子高齢化が進むなか、  
消防団員の確保と消防活  
動の維持発展をはかるた  
め、消防幹部との協議を  
おこない、消防団からの  
要望などを聞き取り調査  
した。

### 委員会の意見

重要伝統的建造物群保  
存地区である塩田津には  
重要文化財に指定された  
西岡家もあり、文化財消  
火活動に対する防災マニ  
ユアル作成を早急にしな  
ければならない。

また、伝建地区の消防  
水利の確保には、浦田川  
の整備が必要であり、県  
との協議を早急におこな  
うべきである。

一方、機庫について旧  
塩田町は原則的に行政所



▲消防活動について協議（総合支所）

有、旧嬉野町は区所有と  
なっているので、早急な  
統一ができるよう努力を  
されたい。

部の統廃合については、  
少子高齢化が山間地にい  
くほど進んでおり、団員  
の確保が困難な部もある。

部の再編成については

消防審議会に諮問しなけ  
ればならないので、今後  
も消防団と行政が連携を  
密にして、地元の同意が  
得られるよう努力してい  
ただきたい。





▲地域再生の拠点「青研」

農家と連携した野菜の直売や5坪ほどのスペースでワインを醸造し販売されており、ワイナリー設置に必要な資金も、行政に頼ることなく市民からの出資を呼びかけ、調達するなど苦労されていた。今では販売所など数店舗を展開し、日常の買い物の場所と雇用の確保と地域コミュニティ復活に

も役立っている。要は、地域の熱意があるかないかにより、活性化の道を辿るか、衰退の道を辿るか肌で感じる事ができた。当市においても国の制度による地域再生に関する事業情報収集には積極的に努め、地域再生に取り組む必要がある。

## 文教厚生委員会

### 委員会の意見

嬉野市内の各小中学校長と教育の問題点について意見交換をおこなった。

いじめ問題について、当市では表面化はしていないが、問題を抱えていることは予想される。未然防止策として、校内に相談ボックス設置・カウンセラーの配置などで対応されている。近年、携帯電話やパソコンによる犯罪も多くなっているため、保護者や学校・行政により完全撲滅に向けた努力を期待する。県内大半の学校が3学

## 学校教育の問題解決にどう取り組むか 市内小中学校長と協議

期制を施行されているなか、嬉野市は全域で2学期制がおこなわれている。ある小学校の学校長は2学期制を高く評価されている。

理由として、学力が全国平均より高いことや、夏休みの行事にも「ゆとり」ができたことなどあげられている。

現在、文部科学省は、この制度について指導、指示はしていないため、市の教育委員会で実施、指導している。

長い歴史の中で定着した3学期制は全国的に実施されており、今後機会あるごとにメリット、デメリットについて充分協議していく必要がある。



▲子どもたちの健全な教育環境を

# 子ども議会 市制施行以来 はじめての 開催へ

将来の嬉野市を担う子どもたちに市の行政について感心を持ってもらうために、「子ども議会」が開催されることになりました。

形式としては中学生（嬉野8名・塩田8名）の一般質問に対して各議員が答えるというものです。どんな質問が出てくるか楽しみ（戦々恐々）です。興味をおもちの方はぜひ傍聴にお出かけください。

**日時**  
11月22日（土）  
午前8時30分～12時

**場所**  
嬉野市役所本会議場  
（本庁3F）

## 観光協会および旅館組合と市議会の懇話会



▲どうする集客増

去る9月3日に、嬉野温泉観光協会および嬉野温泉旅館組合の役員の方々と嬉野市議会議員との懇話会が開催されました。

嬉野市の基幹産業の一つである観光業は、昨年度こそ高校総体の開催により、若干回復しましたが、十数年来、観光客の減少には歯止めがかからない状態です。このような状況のなか、今後嬉野の観光業をどの

ように活性化していけばよいのかについて、話し合いの場が持たれました。

現在の市内を見ますと観光業だけではなく、嬉野茶や吉田焼など嬉野の基幹産業全体が、大変危機的な状況にあります。観光業だけにとらわれず、嬉野の再生には異業種間の交流等を活発にし、お互いに協力をしていくことが大変重要になってくると思われま

## 関東吉田・嬉野会で ふるさと納税制度などを要請

9月28日、東京の霞が関ビル（東海大学校友会館）で吉田会が、中野サンプラザにおいて嬉野会が開催され、出席者は

### 議長交際費

（平成20年7月1日～9月30日）（単位：円）

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	1	11,000
御祝	3	26,370
会費	2	18,000
その他	0	0
計	6	55,370

・御祝 公的性格を有する団体への支出  
・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費

ふるさとに懐かしい思いをはせておられる方々、吉田会が120名、嬉野会は151名と多くの会員の方が出席され盛大におこなわれました。

本市からも多数出席し、そのなかで、ふるさと納税制度などについてのご理解をお願いし、要請がされました。



▲ふるさと納税と定住促進を売り込み中の市長

### 議会広報編集委員会

委員長 小田 寛之  
副委員長 大島 恒典

山口 榮一  
太田 重喜  
秋月留美子  
梶原 睦也